

令和8年度 第2回和泉市教育委員会評価委員会

日時 令和8年5月29日（金）午前10時00分～

場所 和泉市役所3階 3A・3B会議室

次 第

1. 開会

2. 評価委員紹介

3. 職員紹介

4. スケジュール確認

5. 生涯学習ヒアリング

（1）久保惣記念美術館

（2）文化遺産活用課

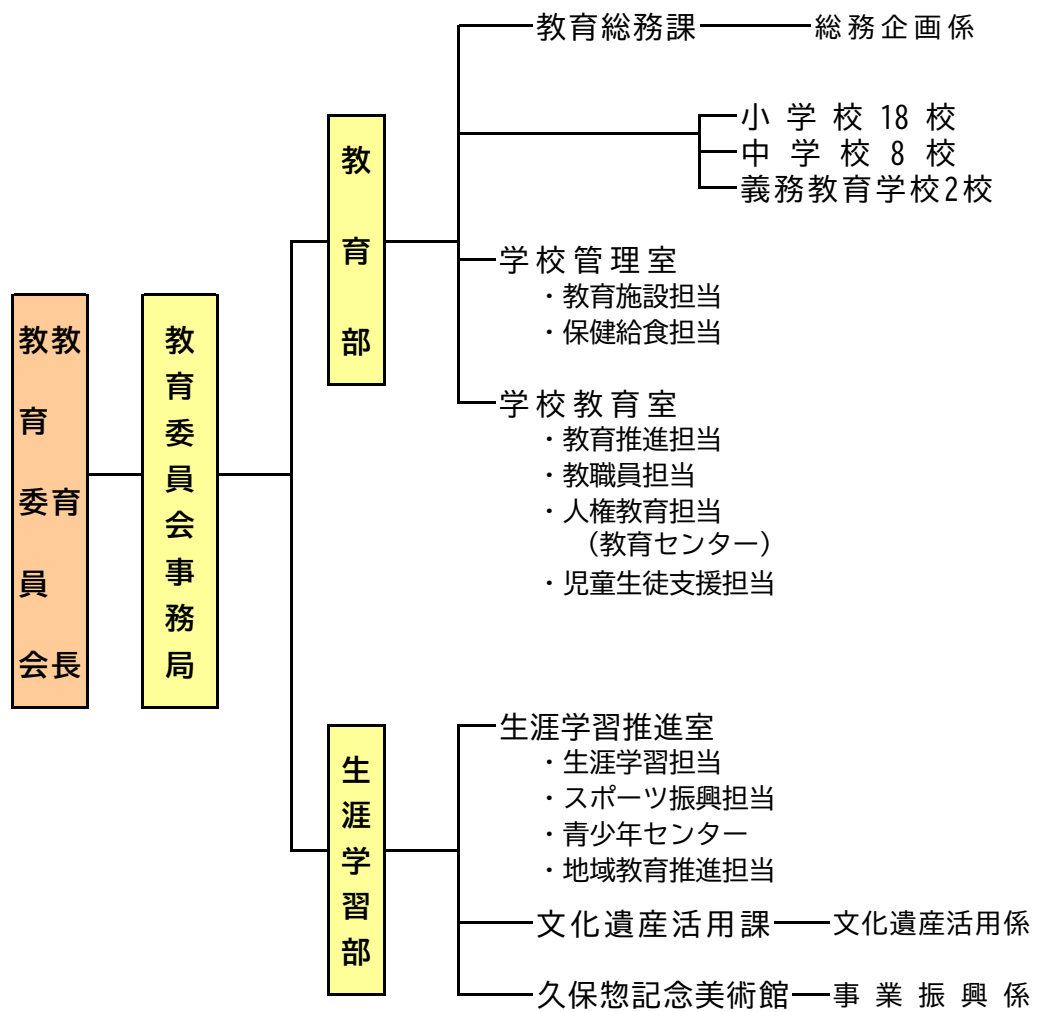
（3）生涯学習推進室

令和 8 年度（令和 7 年度事業対象）
和泉市教育委員会の点検・評価のスケジュール

	教育委員会	事務局	評価委員会
		○前年度の点検・評価に 対する意見の精査 ○6 年度事業の評価方法 の検討 ○点検・評価の素案の作成	
5月 22日(金)		○点検・評価シートの説明	<u>第 1 回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （教育部）
29日(金)		○点検・評価シートの説明	<u>第 2 回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （生涯学習部）
7月 3日(金)		○委員の意見調整	<u>第 3 回評価委員会</u> （点検・評価報告書（案）の 確定）
8月 27日(木)	<u>教育委員会第 8 回定例会</u>	○点検・評価報告書（案） 議案提出	
9月		○議会に報告・公表	

(令和8年4月1日現在)

教 育 委 員 会 機 構 図



取組項目説明順序

説明順	取組項目	時間目安
1 久保惣記念美術館	22	10:05～10:10
2 文化遺産活用課	21	10:10～10:15
3 生涯学習推進室 (青少年センター)	25	10:15～10:20
4 生涯学習推進室 (地域教育推進担当)	23・24	10:20～10:30
4 生涯学習推進室 (スポーツ振興担当)	18・19	10:30～10:40
5 生涯学習推進室 (生涯学習担当)	26 (読書振興)	10:40～10:45
	27 (国際交流)	10:45～10:50
	16・17 (生涯学習)	10:50～11:00
	20 (生涯学習)	11:00～11:05

Ⅳ 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	22	事業名	美術館の運営	担当課	生涯学習部久保惣記念美術館
--------	----	-----	--------	-----	---------------

予算額	243	百万円	決算額	236	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	久保惣記念美術館の施設や所蔵品を活かし美術に触れ合う機会・活動の場の創出に取り組む	①特別展をはじめ、5回の展覧会、音楽ホールでのコンサートや講演会を開催および茶室耐震補強工事(2期)にかかる実施設計策定 ②主に万博会場で働く外国人を対象としたモニターツアー事業の実施および2025大阪・関西万博の「LOCAL JAPAN」にて、枚方市・静岡県三島市・神奈川県箱根町と連携し、「古き良き、江戸時代ヘタイムスリップ」をテーマに出展し、当館所蔵の浮世絵を使った「浮世絵版画摺り体験」を実施し、本市の文化・魅力を発信。 ③和泉市久保惣記念美術館リニューアル基本構想の策定

●令和6年度の課題と改善策

①特別展及び中国書画展の入館者数が目標値の3～4割であった。SNSで年間349件発信するなど広報は強化したが、展覧会自体のコンセプト構築、見所(ハイライト)の選定、効果的なプロモーションの三位一体の戦略的な取組みが出来ていなかったため、結果に結び付かなかった。例えば、「ここでしか見られない」限定感を打ち出すなど、できることから戦略的に展覧会を企画できるよう体制の強化を図る。
②美術館運営ビジョンに基づき、美術館の長寿命化に併せて寄贈敷地の有効活用と収蔵品を活かした展覧会の開催に対応するリニューアル計画を進めるべく、令和7年度においては、和泉市久保惣記念美術館リニューアル基本構想およびリニューアル基本計画の策定に取り組み、来館者の増加を図る。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	22	事業名	美術館の運営	担当課	生涯学習部久保惣記念美術館
--------	----	-----	--------	-----	---------------

●令和7年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①楠蔭庵の耐震補強、外腰掛待合、内腰掛待合、中潜り、梅見門、西門、井筒など構築物の修理、西塀新設等、茶室耐震補強工事（2期）にかかる実施設計を策定。 ②美術館が従来の文化施設としての活動に加え、国際的・地域的な発信力を強化する取組みに挑戦した年となった。展覧会や文化イベントは地域との繋がりを深め、インバウンドモニターツアーやLOCAL JAPAN展（大阪・関西万博において、全国から集結した43自治体が地域の魅力発信）で国際的な文化交流と広報活動を実現した。 インバウンドモニターツアー：参加者27名、LOCAL JAPAN展：参加者650名 ③開館から40年が経過し、施設や設備の老朽化が著しく、収蔵品に影響を与えかねない状況であること、また所蔵品が13,000点と開館時の26倍となり、展示室や収蔵庫の狭隘化が問題となっている。これらの課題を解消すべく、開館50周年を迎える令和14年度に向け本施設のリニューアルを推進するため、リニューアル基本構想を策定した。本構想には、具体的な内容として、新館展示室及び収蔵庫の増築、多目的室の増築、バリアフリー対応、本館の改修を掲げている。
-----------------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
展覧会（特別陳列・常設展・特別展 各1回）の入館者数(目標値：(R4)14,000人、(R5)22,000人、(R6)36,000人、(R7)50,000人) 最終目標(R14)70,000人	14,695 (66.8%)	20,744 (57.6%)	25,436 (70.7%)	D

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①現在、入館者の約7割が50代以上の方となっているため、入館者数が伸び悩んでいる要因の一つは、展覧会の企画内容について、より幅広い世代の関心を引きつける工夫に改善の余地があったものと考え。広報宣伝活動については、アナログ広告に加え、SNSで年間200回の発信、国内最大級のプレスリリース配信プラットフォームである「PR TIMES」による情報発信を新たに開始するなど、更なる強化を図った。 今後は、当館の美術品コレクションを最大限に活用しつつ、市民や新規来館者の興味をひくテーマ設定や関連イベントの充実など、魅力ある展覧会を企画するとともに、展覧会自体のコンセプト構築、見所（ハイライト）の選定、効果的なプロモーションの三位一体の戦略的な取組みができるよう体制の強化を図る。 茶室耐震補強工事（2期）は令和9年度に完了予定。工事中は来館者の安全を確保しながら日曜日の一般公開を継続。登録有形文化財である本茶室の保存と活用を図る。 ③リニューアル基本構想にかかる概算費用を算出するため、令和7～8年度にかけてリニューアル基本計画を策定。予算規模によっては、事業の優先順位を決める必要がある。
--

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	------------------------	-----	--------------

予算額	305	百万円	決算額	275	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	文化財の調査研究・保護継承に取り組む	①郷土史読本の普及・活用 ②史跡池上曽根遺跡整備工事 ③特定歴史公文書及び地域資料等の公開に向け「文書館機能」及びデジタルアーカイブシステムを構築
		史跡公園や歴史館など歴史学習の場の提供・活用に取り組む	④池上曽根史跡公園のリニューアルオープンに向けた活用手法の検討 ⑤歴史講座（和泉史塾や寺子屋いずみ）ウォークイベントなどを開催 ⑥いずみの国歴史館企画展（浮世絵の中のいきもの展）、信太の森ふるさと館企画展（戦後80年記念 軍隊と市民のくらしー信太地域と戦争ー）を開催

●令和6年度の課題と改善策

- ①郷土史読本を活用し、市民にPRすることで、「和泉市の歴史文化財に誇りを持っている」と答えた市民の割合の数値向上に取り組む。
- ②令和8年度の一部供用開始に向け、史跡池上曽根遺跡整備工事を推進する。
- ③「文書館機能」開設にむけた準備（特定歴史公文書の公開目録の作成、公開手続きに係る規則の制定、利用請求に対する処分に係る審査基準の制定等）を進める。
- ④池上曽根史跡公園について、令和8年度の一部供用開始に向け、活用方法を検討する。
- ⑤ヒストリータウン事業としてウォークイベントや歴史講座を実施する。
- ⑥文化遺産施設の入館者・入園者数について、増加をめざした取組みを検討する。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	------------------------	-----	--------------

●令和7年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①市内小学校で郷土史読本を活用してもらうことにより、児童が歴史文化財の価値を学ぶ場を提供した。 ②令和5年度から整備工事を実施しており、令和7年度は多目的広場の整備工事等を実施した。 ③特定歴史公文書の公開目録の作成、公開手続きに係る規則の制定、利用請求に対する処分に係る審査基準の制定及びデジタルアーカイブシステムの構築を行うなど、令和8年4月から開始するいずみの国歴史館での「文書館機能」開設に向けた準備を進めた。 ④令和8年度の一部供用開始に向け、管理委託先である地元協会と定期的に活用方法を検討した（年12回） ⑤池上曽根史跡公園及び信太の森ふるさと館において、講座「寺子屋いずみ」（参加者数合計74名）を開催した。 ⑥久保惣記念美術館との連携事業として、いずみの国歴史館で令和7年度冬季企画展「浮世絵の中のいきもの展」（来館者数2,513名。スタンプラリー引替件数265件）を開催した。 ⑥信太の森ふるさと館で「戦後80年記念 軍隊と市民のくらしー信太地域と戦争ー」（来館者数456名）を開催した。
-----------------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
第5次和泉市総合計画の目標管理の市民アンケート調査における「和泉市の歴史文化に誇りを持っている」と答えた市民の割合(目標値：55.0%)	51.3 (93.3%)	54.7 (99.5%)	53.8 (97.8%)	A
文化遺産施設の入園者・入館者数(目標値：115,000人) (歴史館10,000人、池上曽根史跡公園100,000人、ふるさと館5,000人)	72,788 (63.3%)	68,631 (59.7%)	73,184 (63.6%)	C
文化財関係イベント(和泉史塾、寺子屋池上曽根など)の参加者数(目標値：500人)	580 (116.0%)	618 (123.6%)	535 (107.0%)	S
和泉市文化財TVおよびHPのPV数の増加(目標値：60,000回)	54,817 (91.4%)	50,162 (83.6%)	69,376 (115.6%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

Ⅳ 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	------------------------	-----	--------------

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①郷土史読本や「和泉市の歴史」シリーズ、市制70周年記念誌などを活用し、市民にPRすることで、「和泉市の歴史文化財に誇りを持っている」と答えた市民の割合の数値向上に取り組む。
②令和13年度のリニューアルフルオープンに向け、史跡池上曽根遺跡整備工事を推進する。
③いずみの国歴史館に新設された「文書館機能」やデジタルアーカイブシステムについて、利用の促進を図る。
④池上曽根史跡公園について、令和8年度が史跡指定50周年、公園開園25周年となるため、地元協力会と連携し記念イベントを開催する。
⑤ヒストリータウン事業としてウォークイベントや歴史講座を実施する。
⑥文化遺産施設の入園者・入館者数は令和6年度と比較して増加しているものの、目標値に対する達成度が低い状況である。その一因として、魅力的なイベント等の不足があると考え。令和8年度は、池上曽根遺跡が史跡指定50周年であり、池上曽根史跡公園で記念イベントを開催するほか、いずみの国歴史館において、特別展・企画展として「文書館オープン記念、和泉市制70周年記念、池上曽根遺跡史跡指定50周年記念」を開催し、入館者の増加をめざす。また、その他の文化遺産施設についても、入園者・入館者数の増加をめざした取組みを検討する。

●評価委員からの主な意見

--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	25	事業名	青少年センター活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室青少年センター
--------	----	-----	-----------	-----	---------------------

予算額	30	百万円	決算額	28	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	子ども同士の交流ができる活動の場の提供に取り組む	①ユースゼネレーション(小中学生対象の講習講座や野外活動)の開催 ②どろんこ子ども会を平日放課後、学校長期休業中開設(土日祝等除く) ③(仮称)多世代交流拠点施設における青少年健全育成機能を検討

●令和6年度の課題と改善策

- ①各講習講座については、引き続きアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年の健全育成や子どもの居場所づくり等を踏まえた個別事業の見直しに取り組んでいく必要がある。
- ③(仮称)多世代交流拠点施設基本計画等に基づき、当該拠点施設における青少年健全育成機能について、関係課とともに検討を進めていく。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	25	事業名	青少年センター活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室青少年センター
--------	----	-----	-----------	-----	---------------------

●令和7年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①ユースゼネレーションは、定員を上回る応募があり(延べ参加者数821人)、利用者ニーズに配慮した講習講座を実施することで、青少年の体験や交流の場を提供することができた。 ②どろんこ子ども会(延べ参加者数5,891人)では、学校の放課後や長期休みにおける安全、安心な居場所を提供することで、集団活動や遊びを通じて子どもたちの交流を図ることができた。 ③(仮称)多世代交流拠点施設のDB事業者が決定され、今後も引き続き関係課と協議・調整を行っていく。また、当施設にて実施するソフト事業についても、人権文化センターと引続き協議・調整していく。
-------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
青少年センターで実施する各種講習講座(ユースゼネレーション、ふれあいサタデー等)の参加率(目標値:100%)	86.6 (86.6%)	85.3 (85.3%)	83.2 (83.2%)	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①各講習講座について、引続きアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努める。また、(仮称)多世代交流拠点施設への移転に向け、より多くの方々に各講習講座および新しい施設の認識を高めるべく、市内公共施設での実施を拡大していく。 ②令和9年度(仮称)富秋学園の開校による、どろんこ子ども会の留守家庭児童会機能移転後、当センターにおいて実施する子どもの居場所づくり機能の検討を進めていく。
--

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	23	事業名	青少年の健全育成	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室地域教育推進担当

予算額	6	百万円	決算額	5	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	社会環境が及ぼす青少年への影響配慮や地域による見守りなどに取り組む	①こども会育成連絡協議会の活動支援 ②青少年の非行・被害防止に係る啓発チラシを作成し、町会・自治会での回覧・掲示、市内公共施設での配架、いずみメールでの配信等を実施し、啓発活動を行う。 ③青少年指導員協議会や地域における情報共有、合同巡回の実施支援 ④こども110番事業

●令和6年度の課題と改善策

②スマートフォンやSNSの利用を通じて犯罪に巻き込まれるケースや薬物乱用などが社会問題化する中、引き続き、少年の非行・被害防止に係る啓発活動に取り組んでいく。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	23	事業名	青少年の健全育成	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室地域教育推進担当

●令和7年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①こども会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、ドッチビー、オセロ大会、スポーツ大会の開催による地域に根ざした子どもの健全育成を支援することができた。 ②少年の非行・被害防止（大麻、SNS、飲酒喫煙、課金トラブル）に係る啓発チラシを作成し、町会・自治会での回覧・掲示、市内公共施設での配架、いずみメールでの配信等を実施し、啓発活動を行った。 ④地域の子どもは地域で守り、子どもが安心して暮らせる環境を確保することを目的として、「こども110番」の旗を掲げていただく協力世帯を募るため、広報いずみやホームページで新規協力世帯を募集し、損傷の激しい旗を随時入れ替えた。令和7年度は68件の新規協力世帯の登録があり、古くなった529本の旗を入れ替えることができた。
-------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
こども110番事業における子ども1人あたりの協力家庭件数(目標値:0.22世帯)	-	0.22 (100.0%)	0.25 (113.6%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②最新の少年の非行・被害状況を踏まえたテーマを設定した上で、啓発チラシを作成し、町会・自治会での回覧・掲示、市内公共施設での配架、いずみメールでの配信等を実施し、啓発活動を行う。

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	24	事業名	放課後等の児童の健全育成	担当課 (機構改革前)	教育・こども部こども未来室幼保育成担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室地域教育推進担当

予算額	1,093	百万円	決算額	949	百万円
-----	-------	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	安全・安心して過ごせる児童の放課後活動の場の提供や次世代育成の観点による放課後活動対策に取り組む	①榎尾学園留守家庭児童会の運営を民間事業者へ委託 ②留守家庭児童会において必要な教室数及び支援員確保 ③放課後子ども教室の全ての小学校区での実施を継続、実行委員会形式で実施できる校区の増加

●令和6年度の課題と改善策

①留守家庭児童会の安定運営のために民間委託の拡充等を検討していく。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	24	事業名	放課後等の児童の健全育成	担当課 (機構改革前)	教育・こども部こども未来室幼保育成担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室地域教育推進担当

●令和7年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①令和7年4月より民間事業者が運営を行っており、日々の運営については、直営でも起こりうるような児童同士のトラブルなどは発生しているが、大きな問題は発生していない。水遊びや室内ドッジボール、新聞紙を利用した工作、おやつバイキングなど、子ども達を楽しませる取組みも行っており、問題なく運営できている。 ②学校児童推計を基に算出した留守家庭児童会入会児童数推計に基づき、適切なクラス数の設定ができたことにより、待機児童が発生することなく運営することができた。 ③放課後子ども教室は、実行委員会で実施する校区が1校区減少し12校区となったが、PR活動により、R8年度に新たに1校区が参加を予定している。また、実行委員会がない校区では、市主体で3校で実施することができた。
-------------	--

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
留守家庭児童会の待機児童数(目標値：0人)	0 (100.0%)	0 (100.0%)	0 (100.0%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①現状、大きなトラブルが発生していないが、引き続き運営事業者と情報共有をし、安全安心な運営をおこなってもらう。 ②留守家庭児童会支援員の人材不足への対応として、民間委託(R9より（仮称）富秋学園・信太小・鶴山台北小・鶴山台南小を予定）や人材派遣など民間事業者を活用する。 ③実行委員会が実施する校区数が伸び悩んでいるため、市主体でも実施する。また、地域や保護者に対し、放課後子ども教室活動のPRを行う。また、新たな取組みとして放課後等に学校施設を拠点に安全・安心に過ごせる子どもの居場所づくりの設置について検討する。 ※予算額と決算額の差異（144百万円）の主な要因は、南松尾はつが野学園留守家庭児童会室増築工事の落札減額のため。

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	18	事業名	スポーツ施設の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

予算額	263	百万円	決算額	260	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	誰もが身近な場所でスポーツに親しみ、生きがいや健康を育む	スポーツを行う環境を整える	①（仮称）北部総合スポーツ公園基本構想策定 ②スポーツ施設の営繕・改修等の実施（市民体育館駐車場再整備工事、コミュニティ体育館第1駐車場陥没復旧工事、いぶき野小学校運動場照明設備改修） ③指定管理者と協議のもと、稼働率向上に向けた取組み

●令和6年度の課題と改善策

- ①（仮称）北部総合スポーツ公園基本構想策定において、多くの市民利用につながる施設整備を検討する。
- ②社会体育施設の老朽化に対して、市民が気持ちよく運動できるようスポーツ施設の営繕、改修を計画的に実施する。
- ③稼働率向上につながる新たな魅力作りについて指定管理者と協議検討する。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	18	事業名	スポーツ施設の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

●令和7年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	①令和6年度より継続して実施していた（仮称）北部総合スポーツ公園基本構想について、昨年10月にパブリックコメントを実施し、令和8年3月に策定。基本コンセプトを「“人と人”、“人と自然”がつながる、スポーツとふれあいの拠点」とし、スポーツゾーンや広場ゾーンなどを設定し、令和16年度の施設オープンをめざす。 ②スポーツ施設の営繕・改修等の実施（市民体育館駐車場再整備工事（～令和9年2月予定）、コミュニティ体育館第1駐車場陥没復旧工事、いぶき野小学校運動場照明設備改修）を行い、利用者の利便性向上につながった。 ③温水プールでは、新たに体験教室の実施を行った。また、適正な施設管理により、故障による休館期間がなかった。体育施設においては、利用者数の増加を目的に、スポッ Tucker の増設に加え、コミュニティ体育館体育施設の保守点検や緑地運動場のトイレの排水不良についてカメラ調査を実施するなど、安全管理や満足度向上のための予防的対策を行った。
-----------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
社会体育施設の利用者数 (目標値：前年度比1万人増 R5:472,921人 R6:468,123人 R7:499,852人)	458,123 (96.9%)	489,852 (104.6%)	512,484 (102.5%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①（仮称）北部総合スポーツ公園基本構想に基づき、基本計画において、多くの市民利用につながる施設整備計画を検討する。 ②社会体育施設の老朽化に対して、市民が気持ちよく運動できるよう光明池球技場テニスコート人工芝の張替え工事や、市民体育館への空調導入に係る設計の実施など施設の営繕、改修を計画的に実施する。また、総合スポーツセンターのリニューアルとして、多目的グラウンドの人工芝張替えや管理棟屋上の観覧スペースの充実に向けた設計を実施する。 ③新たな教室や体験会の実施など稼働率向上につながる新たな魅力作りについて指定管理者と協議検討する。

●評価委員からの主な意見

--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	19	事業名	スポーツ活動の普及	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当、 地域教育推進担当

予算額	48	百万円	決算額	44	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	スポーツを通じて地域の仲間たちと親交を深める	スポーツ活動の仕組みづくりに取り組む	①各種イベントにおける参加者増加に向けた取組みの検討 ②和泉市部活動地域展開推進計画の策定 ③学校開放システム構築の委託

●令和6年度の課題と改善策

①信太山クロスカントリー大会の参加者増加が課題であり、ふるさと納税による出場権付与の周知および大会の魅力向上を図る。
①ニュースポーツ教室の1回当たりの参加者数は、令和5年度（15人/回）から令和6年度（19人/回）と増加しているが、定員（50人）に達していないため、周知方法や内容を充実していく。
②部活動指導員の充実や質の担保、合同部活動や拠点校部活動の実施、大学との連携など、部活動が実施しやすい環境の確保に向け、部活動地域移行計画策定委員会の中で議論していく。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	19	事業名	スポーツ活動の普及	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当、 地域教育推進担当

●令和7年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	①信太山クロスカントリー大会では、出場権をふるさと納税の返礼品として周知し、18人がエントリーを行った。 ①ニュースポーツ教室について、参加者の増加及び満足度の向上を図る目的で、新年度の内容変更を議論した。令和8年度は、みんなで楽しむ種目の体験と個人で点数を競う種目を組み合わせた「レッツエンジョイ！ニュースポーツ！！」を開催予定。 ②部活動地域移行計画策定委員会からの答申を受け、部活動地域展開推進計画を策定し、本市の方向性として、「1. 部活動指導員の充実」「2. 合同部活動や拠点校部活動の実施」「3. 大学との連携」を3つの柱として設定した。具体的な運用にあたっては実現性・継続性にも十分考慮し、本市の実態にあった運用を検討する。 ③団体情報や利用申請をオンラインで行えるシステムの構築を行い、令和8年度から運用を開始予定。オンライン上での予約が可能となり、併せてパスワードでキーボックスを開錠するスマートロックを導入することで利用者の利便性の向上を図った。
-----------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
スポーツ事業参加者数対前年度比(目標値：1以上)	1.49 総数:2,796 (149.0%)	1.03 総数:2,893 (103.0%)	1.23 総数:3,551 (123.0%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①信太山クロスカントリー大会参加者増加のため、SNSを活用し、マラソンランナーやトレイルランナーへの広告などターゲットを絞った効果的な情報発信を行う。 ②令和8年2月に策定した部活動地域展開推進計画をベースに、指導者の質の確保や子どもたちの想いに沿った部活動の展開を実施できるよう、具体的な運用検討を進める。 ③システムの導入により、紙媒体でのやりとりを不要にすることで、学校及び団体の負担軽減を図る。また、利用状況の可視化による効率的な施設の活用を図る。導入初年度は、学校・団体からの問い合わせが多いと思われるが、内容を集約し対応を整理する。

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	26	事業名	図書館の運営および子どもの読書推進	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-------------------	-----	--------------------

予算額	348	百万円	決算見込額	348	百万円
-----	-----	-----	-------	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯における読書振興	生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	図書の提供だけでなく調査・探究を手助けする情報拠点として、図書館の管理・運営に取り組む	①2館2室の指定管理者による管理運営 ②電子図書館の周知拡大 ③公共施設を活用した自習室の開設
		子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組む	④ブックスタート事業・学校配送・講座や講演会等などの継続 ⑤和泉市子どもの読書活動推進協議会の開催 ⑥図書館を使った調べる学習コンクール・小学生読書おたよりコンクール・中学生POPコンクール ⑦18歳以下の子どもへの「ぶっくんつうちょう」(通帳型読書記録帳)の無料配付並びに周知拡大 ⑧市内小学校新1年生への図書館カード配付 ⑨学校図書館・市立図書館のシステム連携に向けて検討継続

●令和6年度の課題と改善策

①②引き続き、魅力的な講演会やワークショップを開催し、図書館の利用促進を図るとともに、出前講座において、電子図書館の周知に積極的に取り組む。
⑨今後開校予定の小中一貫校における学校図書館の電算化だけでなく、学校図書館と市立図書館の統一システムによる連携の導入に向けて関係部局との連携が必要である。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	26	事業名	図書館の運営および子どもの読書推進	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-------------------	-----	--------------------

●令和7年度の事業評価

生涯における読書振興	①指定管理者が持つノウハウを生かし、図書館事業の充実に努めた。また、講演会やワークショップ開催により、読書の振興と図書館利用促進を図ることができた。 ②電子図書館の周知を図るため、今年度、出前講座メニューに「電子図書館の使い方」を追加し、市内小学校へ出向いて講座を実施した。また、指定管理者の自主事業として、桃山学院大学で電子図書館出張体験会を開催し、電子図書館の利用促進を図った。 ③ホームページを活用し、市内自習室の周知に努め、56,933人(R6:55,017人)の利用があった。また、利用者アンケートを実施し、椅子の交換など、利用環境の改善を図った。 ④令和7年8月22日に和泉市子どもの読書活動推進協議会を開催し、活発な意見交換や事業提案がなされた。 ⑤「図書館を使った調べる学習コンクール」に63点(R6:101点)の応募があり、全国コンクールに進んだ受賞作品のうち、1作品が優良賞、1作品が佳作を受賞した。小学生読書おたよりコンクールは、低学年の部に430点(R6:44点)、高学年の部に387点(R6:124点)、中学生POPコンクールに191点(R6:185点)の応募があり、コンクールを通じた読書啓発を行うことができた。 ⑥こどもの図書館利用や電子図書利用を促すため、令和3年度に市内小・中学生の図書館カード未所持者に図書館カードを配付し、令和4年度以降は、市内小学新1年生の図書館カード未所持者を対象に配布しており、令和7年度は、831名(R6:890名)に配布することができた。
------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
市立図書館入館者数(目標数値: 869,000人)	659,398 (75.9%)	671,213 (77.2%)	662,806 (76.3%)	D
こども1人当たりの市立図書館貸出冊数(目標数値: 10冊)	8.1 (81.0%)	8.1 (81.0%)	8.3 (83.0%)	B

※達成度の凡例 S: 目標達成 A: 達成率90%以上 B: 達成率80%以上 C: 達成率80%未満(前年度より改善) D: 達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

⑨令和9年4月の(仮称)富秋学園開校に向け、図書室の地域開放にかかる準備を進める。

「市立図書館入館者数」については、人口減少、高齢者の来館機会の減少・読書離れ、定年延長による余暇時間の減少、電子書籍の普及、共働き世帯の増加による来館時間の制約などにより減少したものと想定されるが、引き続き、読書への興味・関心を高める配架や蔵書の充実に努める。「こども1人当たりの市立図書館貸出冊数」については、前年度より向上しており、作家による講演やこども向けの読書イベントなどの開催により、こどもの読書活動推進を図る。

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	27	事業名	国際交流	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	------	-----	--------------------

予算額	19	百万円	決算額	10	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
国際交流の推進	多様な価値観を学び認め合う国際交流の推進	国籍や文化の違いを超えて、互いを尊重し、ともに活躍できるグローバル人材育成のため、国際交流の推進に取り組む	①姉妹都市である米国・ブルーミントン市との交換学生相互派遣事業において、交換学生を派遣 ②姉妹都市である米国・ブルーミントン市とのマラソンランナー相互派遣事業において、ランナーを相互に派遣 ③米国・ブルーミントン市、中国・南通市、台湾との文化交流として、絵画の交換による絵画展を開催 ④友好都市である中国・江蘇省南通市から代表団を受入れ、万博でコラボステージを実施

●令和6年度の課題と改善策

①令和7年度は市内中学生10人を姉妹都市である米国ブルーミントン市へ派遣予定であるが、派遣事業終了後も、交換学生に継続的に市の国際交流事業に関わっていただくための仕組みの検討が必要である。
④2025大阪・関西万博での南通市文化芸術集団といずみ太鼓鼓聖泉のコラボステージ実現のほか、幅広い方々に文化交流を行っていただけるよう、万博のみならず、和泉市内でのコラボステージ実施に向け、南通市と引き続き、協議・調整を行っていく。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	27	事業名	国際交流	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	------	-----	--------------------

●令和7年度の事業評価

国際交流の推進	①令和7年8月7日から17日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市に交換学生10人、引率者2人を派遣し、市内公共施設の見学、ホストファミリーや姉妹都市委員会との交流を行った。 ②令和7年10月2日から9日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市にランナー2人を派遣し、ツインシティマラソンに出場したほか、市内公共施設の見学や高校訪問、ホストファミリーや姉妹都市委員会との交流を行った。また、令和8年2月5日から10日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市からランナー2人を受け入れ、KIX泉州国際マラソンに出場したほか、市内公共施設の見学や体験、市内小中学生との交流を実施した。 ④友好都市である中国・江蘇省南通市の文芸集団である南通芸術劇院を受入れ、万博のステージでいずみ太鼓鼓聖泉とのコラボステージを実現したほか、和泉シティプラザ弥生の風ホールにて、南通芸術劇院、鼓聖泉や市内中学生吹奏楽部などが出演する和泉市民還元音楽祭を開催した。
---------	--

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
「日本と世界の子どもの作品展」市内出展作品数(目標数値：70点)	60 (85.7%)	98 (140.0%)	126 (180.0%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①令和8年度は、姉妹都市である米国ブルーミントン市から10名の学生を受け入れる予定であるが、過去の派遣事業参加者に継続的に国際交流事業に関わっていただくため、学生受入れ時のプログラムに過去の派遣事業参加者が参加可能なメニューを組み込む。

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	16	事業名	生涯学習環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	1347	百万円	決算額	371	百万円
-----	------	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	一人ひとりが、生涯にわたり生きがいをもって豊かな人生を歩む	必要なときに必要な学びを提供できる環境整備に努める	①コミュニティセンター、生涯学習センター、生涯学習サポート館、青少年の家、槇尾山森林浴コースの指定管理者による管理運営 ②出前講座 ③日本語学習機会のある場として、日本語サロン、和泉読み書き教室、いずみ識字学級を設置 ④青少年の家について、令和9年4月のリニューアルオープンをめざし、改修工事に着手する
	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	学習の成果をいかして活動できる場の提供に取り組む	⑤いずみ市民大学において、市民ニーズに応じた講座提供を行うことにより、多様な人材を確保し市民相互のネットワークを拡大 ⑥生涯学習人材データベースへの登録促進

●令和6年度の課題と改善策

④令和9年4月のリニューアルオープンをめざし、改修工事、新指定管理者の選定、施設の利用規定や運営方法の見直しなどに取り組む。
⑤魅力的な講座内容を検討し、前年度を上回る受講者の確保に努める。また、令和7年度で開講10周年を迎えることから、歴代の卒業生による発表会を開催する。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	16	事業名	生涯学習環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

●令和7年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	①生涯学習サポート館について、当施設がこれまで担ってきた生涯学習センターの補完施設としての役割は一定果たし終えたこと、スポーツ施設としての役割についても周辺の体育施設等で利用需要を賄えることから、次期指定管理期間の満了（令和12年度）をもって事業廃止することとした。 ③日本語学習機会の場として設置している日本語サロン【フチュール和泉、和泉シティプラザ】53人（R6:65人）、和泉読み書き教室【和泉市コミュニティセンター】8人（R6:8人）、いずみ識字学級【和泉市立北部総合福祉会館、旭第二団地集会所、和泉市立人権文化センター】20人（R6:16人）の受講があった。 ④青少年の家について、令和9年4月のリニューアルオープンをめざし、改修工事に着手した。 ⑤いずみ市民大学について、まちづくり本科、まちづくりスキルアップ学科、観光おもてなし学科の3コースを設定し、30人の受講があった。まちづくり本科では、日本ボランティアコーディネーター協会認定講師を講師に迎え、「ボランティアコーディネーション3級検定試験」の受講資格が得られる計4回のボランティアコーディネーション3級検定対策講座を組み入れ、地域活動の即戦力として活躍いただける人材の育成に取り組むとともに、市民大学開講10周年を記念し、卒業式において、歴代卒業生によるまちづくり活動にかかる取り組みの発表を行った。教養学部では、「不思議の国-西洋古代・中世の国家」に関する講座の人気の高く、前期と後期合わせて12講座開催し、613人の受講があった。（R6：12講座・727人受講）
-----------------	---

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
いずみ市民大学受講者数(目標値：700人)	566 (80.9%)	751 (107.3%)	643 (91.9%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

④令和9年4月のリニューアルオープンをめざし、改修工事に取り組むとともに、指定管理者と協議の上、利用者を増加させるための魅力的な運用方法を決定する。 ⑤教養学部については、講座数に変更はないものの、受講者数が114名減少する結果となった。令和6年度に実施した「ピアノ名曲探訪～生演奏でつづる」が、例年特に人気の講座であることが要因であると考えられるため、同講座をメニューに追加できるよう検討する。また、開講10周年を迎えたいずみ市民大学について、名称や内容をリニューアルし、参加者が利用しやすい内容とする。 ※予算額と決算額の差異（976百万円）の主な要因は、青少年の家改修工事費について、市の財政負担にとってより条件の良い（より多くの交付税を受けることができる）令和7年度補正予算による国の交付金を受けるべく、本工事費を令和7年度補正予算に計上のうえ、全額を繰越明許費として令和8年度に繰り越すこととなったため。
--

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	17	事業名	社会教育環境づくり	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当、 地域教育推進担当

予算額	4	百万円	決算額	4	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	多様化する時代に即した地域社会、コミュニティの形成がなされる環境づくりに取り組む	①社会教育委員会議の開催 ②PTA協議会活動の支援 ③はたちのつどいの運営支援(はたちのつどい企画委員との連携)

●令和6年度の課題と改善策

③はたちのつどいについて、会場敷地内での飲酒等の課題があるため、引き続き、実行委員会による飲酒禁止の呼びかけや飲酒禁止の周知に取り組む。また、参加者数の減少に伴い、効率的かつ適正な規模での運営を行うため、4部制から3部制開催への見直しを行う。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	17	事業名	社会教育環境づくり	担当課 (機構改革前)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
				担当課 (機構改革後)	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当、 地域教育推進担当

●令和7年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	①令和8年3月に社会教育委員会議を開催し、市の社会教育施策に関する意見聴取を行い、生涯学習ポータルサイトまNAVIの充実に 関する助言をいただいた。 ②PTA協議会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、研究大会の開催を通じた各学校PTAの横の連携強化や家庭教育への学びを 深める機会の創出を支援した。 ③令和8年1月12日に、はたちのつどいを3部制で開催し、1,496人（参加率：77.6％）が参加した。（R6：1,488人、参加率 74.7％）また、会場内での飲酒を控えるよう、企画委員による周知徹底に努めた。
-----------------	--

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
はたちのつどい参加率(目標値：75%)	77.0 (102.7%)	74.7 (99.6%)	77.6 (103.5%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③はたちのつどいについて、会場敷地内での飲酒等の課題があるため、引き続き、実行委員会による飲酒禁止の呼びかけや飲酒禁止の周知に取り組むとともに、 令和7年度に引き続き、3部制での開催とする。
--

●評価委員からの主な意見

--

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	20	事業名	文化芸術活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

予算額	41	百万円	決算額	40	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和7年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	市民生活を心豊かで、潤いあるものとする	市民の創造性豊かな文化・芸術活動を支援する	①市民文化祭において、幅広い分野の受け入れを行う。また、文化協会の協力を得て、市民が身近に文化を感じられるよう、体験教室を開催。市民文化祭の一般参加(文化協会非会員)について、幅広い層に参加していただけるよう、募集を行う。 ②太鼓教室や太鼓体験教室の開催や活動支援によるいずみ太鼓の振興 ③文化芸術の振興発展・文化芸術活動の活性化を目的として文化協会と連携し、各種イベント開催時や学校・園等で様々な文化を体験できる機会を提供

●令和6年度の課題と改善策

③引き続き、文化芸術の振興発展のため文化協会と連携し、今後も様々な機会を通じて市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化協会と学校・幼稚園・保育所等との連携により、次代を担う子どもたちに対して様々な文化体験の機会を提供する必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和7年度事業)

取組項目番号	20	事業名	文化芸術活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

●令和7年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①令和7年10月5日～12月21日に市民文化祭を開催し、展示部門第1期～第2期は11,820人、演技部門は4,156人が来場され、身近な場所で文化・芸術に触れていただくことができた。また、今年度は、11月3日の式典と同日で市民ステージ（一般参加者のステージ）を開催したほか、展示部門については、文化協会と一般参加の方の作品展示を同時に行い、多くの方に来場いただくことができた。 ②太鼓教室や太鼓体験教室を開催し、日頃の練習の成果を披露する場として、令和7年12月6日・7日に2部制で「いずみの国太鼓クリエーション2025」を開催し、計1,031名が来場された。 ③地域の夏祭りに吹奏楽部門が出演したほか、小・中学校で、ちぎり絵部門、書道部門が各体験イベントを行うなど、多くの市民に文化・芸術に触れる機会を提供することができた。
-----------------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和5年度 ()は達成率	令和6年度 ()は達成率	令和7年度 ()は達成率	達成度
市民文化祭に参加している市民の延べ人数(目標値：10,500人)	12,375 (117.9%)	13,751 (131.0%)	15,976 (152.2%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③引き続き、式典と同日で市民ステージを開催することや、文化協会と一般参加の方の作品展示を同時に行うなどの工夫を行い、来場者の増加をめざす。

●評価委員からの主な意見

--

項目	事業名	質問	回答
22	美術館の運営	【杉田委員長】 入館者のうち7割が50代以上とのことですが、残り3割の方についての属性や企画の好み等を把握し、それも踏まえて取り組まれるとよいと思います。 【小松委員】 入館者の情報について、年齢以外にも市内・市外やリピーターの割合等の情報も教えてください。それによっては展覧会のテーマ設定も変わってくると思います。 【小松委員】【川合委員】 取組の成果の達成目標「入館者数」は、何を基準に設定したのか教えてください。目標には達しないものの、年々、入館者数が増加していることは評価できると思いますので、事業評価の欄等で成果を表現してもいいのではないのでしょうか。	従来の美術ファンだけでなく、美術に関心が低い層や若年層・ファミリー層を取り込むため、鑑賞に体験を加える取組みが重要と考えています。今年度は市制施行70周年を記念し、幅広い世代に人気のあるプロジェクションマッピングやファミリー層が参加しやすい「ふれあいコンサート」を実施し、新規来館者の獲得を図ります。 年齢以外の入館者情報について、市外8割に対し市内2割。リピーターの割合は、2回以上が5割に対して、初回5割。性別は、女性6割で男性4割。交通手段は、自家用車が7割で公共交通機関が2割です。 来館したことがない方に魅力を感じてもらえるような展覧会の企画や美術に関心が低い方にも訴求できる体験型イベントの実施、音楽ホール・茶室・庭園の魅力の発信により、新規来館者の獲得を図ります。 目標の設定根拠としましては、R4・R5年度は、前年度来館者数の1割増。R6年度は、コロナ前2年間の平均入館者数の1割増。R7年度は、特別展、特別陳列及び常設展それぞれの過去最高入館者数を積み上げて設定しました。また、R14年度は、本施設の管理運営費の1/2を来館者の入館料で賄えるよう設定しております。ご指摘を踏まえ、入館者が年々増加している点について、事業評価欄に成果を加筆します。

21	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	【杉田委員長】 課題と改善策に記載の「ウォークイベントや歴史講座」を令和7年度の主な取組内容にあわせて、「歴史講座やウォークイベント」に修正することを検討してください。 【杉田委員長】 入園者・入館者の属性を把握し、それも踏まえて取り組まれるとよいと思います。 【小松委員】 令和7年度事業評価の②と④について、「史跡池上曽根遺跡」や「池上曽根史跡公園」での取組であることを追記することを検討してください。 【小松委員】 取組の成果の達成目標「文化遺産施設の入園者・入館者数」は、何を基準に設定したのか教えてください。 また、施設ごと（歴史館、池上曽根史跡公園、ふるさと館）の令和7年度の実績人数を教えてください。	ご指摘を踏まえ、修正します。 詳細な属性は把握できていませんが、歴史館で実施した冬季企画展「浮世絵の中のいきもの展」では、年齢や住所、知ったきっかけなどのアンケートを実施しました。また、ふるさと館では、1月から性別や年齢（65才以上、65才以下、こども）別の入館者カウントを開始しています。今後、各施設において属性把握をすすめ、それに基づく対策を検討していきます。 ご指摘を踏まえ、追記します。 歴史館およびふるさと館は、コロナ禍以前の実績に戻すこと、池上曽根史跡公園は、第2期整備に取り組んでいることから、コロナ禍以前の実績を上回ることを基準に設定しました。各施設の入園者・入館者は以下の通りです。 ・歴史館：6,936人 ・池上曽根史跡公園：62,260人 ・ふるさと館：3,988人
----	------------------------	--	--

		【小松委員】 池上曽根史跡公園の入園者数はどのようにカウントしているのか教えてください。 【川合委員】 取組の成果の達成目標「和泉市文化財 TV および HP の PV 数の増加」が大幅に増加している要因をどのように分析しているのでしょうか。	史跡公園の利用者は、①団体利用・イベント利用、②池上曽根弥生情報館への入館、③史跡公園への来園の3つに大別し、①は利用団体からの報告、②は情報館入口センサーによる自動カウント、③は情報館職員及び協力会会員の目視による手動カウントにより、入園者数をカウントしています。 全体として PV 数は約 1.4 倍に増加しています。とくに増加が顕著なものは、2 倍以上に増加した英語版や中国語版 HP など、万博やインバウンドの効果が一定あったものと考えています。
25	青少年センター活動	【小松委員】 取組の成果の達成目標「青少年センターで実施する各種講習講座の参加率」は、どのように算出したのでしょうか。 【小松委員】 講習講座について、アンケート調査を実施し、利用者ニーズを把握して実施しているとのことですが、令和7年度は具体的にどのようなニーズがあって、どのような講習講座を実施したのか具体例を教えてください。また、利用者ニーズは年度によって変化しているのでしょうか。	各講習講座の定員を上回る応募がある場合は、100%とし、下回る場合は、その実数にて算出しております。 アンケートでは、主にパン作りなどの料理教室や宿題として課される貯金箱作り、書道のワンポイント講座などの要望があったため、実際に、夏休み期間には貯金箱作りやうちわ作り、料理系では、彩りそうめんといなりずしづくり、キンパとトッポギづくりなど実施しました。またニーズに大きな変化はございませんが、e スポーツなど新たな講座も実施し、好評を得たところです。

		【川合委員】 令和7年度のどろんこ子ども会の登録者数と所属学校を教えてください。	令和7年度末時点で、日常においては23人で、所属学校は、ほぼ幸小学校です。また夏休みなど長期休業中における特別会員は79人で、所属学校は、主に幸・信太・伯太小学校です。
23	青少年の健全育成	【小松委員】 和泉市のこども会の活動状況や実態、概要を教えてください。(こども会の数や、自主的な活動をする会がどの程度あるのか、どのくらいの割合の子どもがこども会に属しているのか) このような団体に関わっている子どもは、一定、健全な環境にいと捉えて良いのではと思います。	和泉市こども会育成連絡協議会に加入しているこども会は、市内13校区37団体で、同こども会に未加入のこども会の活動内容や人数等は把握できておりませんが、同協議会に加入しているこども会の各活動は、ソフトボールやキックベースボールなどのスポーツ活動やBBQやクリスマス会など、自主的な活動がおこなわれています。 次に、同こども会に属している小学生の割合は、令和7年5月1日時点の小学生児童数約9,100人のうち、約1割の940人が所属しています。
24	放課後等の児童の健全育成	【杉田委員長】 課題と改善策欄の「大きなトラブルが発生していない」を「大きなトラブルは発生していない」に修正することを検討してください。 【小松委員】 留守家庭児童会、放課後子ども教室ともに、継続的に適切な運営ができていると感じます。放課後子ども教室については、実行委員会を組織し続けることが難しくなるケース	ご指摘を踏まえ、修正します。 放課後子ども教室のPRについては、和泉市ホームページや和泉市公式LINE、いずみメールでの発信をおこなっています。

		が生じそうですが、PR 活動によって R8 年度に新たに 1 校区の参加が予定されているとのことです。どのような PR 活動をしたのか教えてください。 【川合委員】 留守家庭児童会の運営において支援員の役割は重要だと考えますが、資格や研修体制について教えてください。	現在、新設を検討されている 1 校区につきましては、この PR を見ていただき、放課後子ども教室（げんきっ子プラザ事業）に興味を示され、ご相談いただいたものです。 留守家庭児童会は、国が定める基準により約 40 人程度のクラブを支援員最低 2 人体制で運営しています。なお、配置される 2 人のうち 1 人は「放課後児童支援員」の資格を持つ専任の職員（主に保育士・教員免許取得者で、かつ、大阪府主催の研修を修了した者）になります。 研修体制は、「配慮の必要な児童への対応」などの研修を年 12 回程度おこなっています。
18	スポーツ施設の運営	【小松委員】 順調に施設利用者数が増加しておりますが、特に増加したなど各施設による違いはあるのでしょうか。違いがあるのであれば、その要因も教えてください。 【小松委員】 令和 7 年度に、稼働率向上につながる新たな魅力づくりとして取り組んだことがあれば、教えてください。	特に増加した施設は、温水プール、コミュニティ体育館、総合スポーツセンターです。要因としては、温水プールは R6 年度に稼働停止した期間が約 1 ヶ月ありましたが、R7 年度は停止期間がなかったこと、コミュニティ体育館は、アリーナでの大会開催が増加したこと、総合スポーツセンターは野球場の利用者数が増加したことによるものです。 コミュニティ体育館において、プロフットサルリーグ F リーグのシュライカー大阪のエース加藤翼さんを招聘してフットサル講習を行い、プロ選手のパフォーマンスを体感できる場を提供しました。

19	スポーツ活動の普及	【小松委員】 取組の成果の達成目標「スポーツ事業参加者数」のスポーツ事業の具体的な内容を教えてください。 【小松委員】 信太山クロスカントリー大会の全体の参加者数を教えてください。(ふるさと納税による参加人数18人が多いのか少ないのか判断したい)	市が関わる大会や教室等で、R7年度においては、信太山クロスカントリー大会、ニュースポーツフェスタ、走り方教室、オリックス市民観戦デー等、8事業を含んでおります。 信太山クロスカントリー大会の参加者数(全体)は、申込者数が1,538人、当日参加者数が1,346人です。
26	図書館の運営および子どもの読書推進	【杉田委員長】 取組の成果の達成目標「市立図書館入館者数」について、入館者の利用曜日・時間帯、属性別を把握し、それも踏まえて取り組まれるとよいと思います。 【小松委員】 取組の成果の達成目標「市立図書館入館者数」の目標値は、何を基準に設定したのか教えてください。目標設定が高すぎるということはないでしょうか。 【小松委員】 小学生読書おたよりコンクールの応募数が前年度から大幅に増加した要因を教えてください。何か具体的な取組みを行ったのでしょうか。(継続的に取り組めることなのか)	入場ゲートの通過者をカウントしていることから、属性別の把握までは難しい状況ですが、他の来館者数の状況を参考に図書館運営に努めてまいります。 第5次和泉市総合計画策定時(平成28年)に設定した目標数値を引用しており、コロナ禍の令和元年度以降、入館者数が大幅に減少していることが原因と考えます。目標数値を改定する際は、現状を踏まえた設定に修正することを検討します。 市内小・中学校の校長先生が集まる校長会において、同事業の案内を行い、学校の授業や夏休みの課題として取り組んでいただけた学校が多くあった結果、大幅に増加したものと考えています。

		【小松委員】 図書館カードを持っていない小学新1年生にカードを配布しているとのことですが、未所持者全員に配布しているのでしょうか。（例えば、学校を通して、もれなく和泉市の子ども全員に配布している、未所持者をリストアップし、その中でコンタクトが取れた子どもにのみ配布するなど） 【川合委員】 （仮称）富秋学園図書室の地域開放について、今後、他の学校でも進めていく考えはあるのでしょうか。	小学校を通じ、新1年生に対して図書カード発行の案内を行なっているもので、申込依頼のあった児童に発行しています。そのため、図書カードを持っている児童には、発行しておりません。 （仮称）富秋学園は、地域の方々が積極的に教育活動に参加できる環境づくりを進めること、また、地域主体で絵本の読み聞かせを行うなど、読書振興を推進してきた背景があったため、図書館を地域開放することとしましたが、現時点では、他校の図書館の地域開放は想定しておりません。
27	国際交流	【小松委員】 取組の成果の「作品展への市内出展作品数」が年々、増加している要因を教えてください。何か具体的な取組みを行ったのでしょうか。 【小松委員】 ブルーミントン市からランナー2人を受け入れ、市内小中学生との交流を実施したとのことですが、具体的にどのような交流をしたのか教えてください。 【川合委員】 過去に派遣事業に参加し、国際交流事業などに関わった方	広報やホームページにて出展募集を行なっていることで、年々、認知度が高まってきたことに加え、市内の文化団体などもこの作品展に興味を持ち、団体にて出展いただけていることも要因であると考えています。 昨年度は槇尾学園の前期課程の体育の授業を見学いただき、児童とバスケットボールやなわとび等を通じた交流を行いました。 派遣中学生の説明会において、過去に派遣学生としてこの

		はおられますか。	事業に参加した自身の体験談を話していただいたことや、交換学生の受け入れの年には、交流パーティーで企画の運営スタッフとして協力いただいた実績があります。今年度を実施する受け入れ事業においても、過去に派遣した学生がフェアウェルパーティー時に協力いただけることになっています。
16	生涯学習環境づくり	【小松委員】 日本語学習機会の場として、日本語サロンなどを実施されておりますが、近年、外国人人口が急激に増加しており、今後さらにニーズが高まることも予想されますが、現状、講座の受講定員等は適正なのでしょうか。	日本語サロンは1対1でのマッチング形式で行っており、現在も10名程度のマッチングを待ってられることから、毎年、日本語ボランティア養成講座を実施し、講師の確保に努めています。しかしながら、この事業は、日常生活において不便なく生活できることを目的とした事業であり、日本語学習についても多様化していることから、事業のあり方についても検討していく必要があると考えています。
17	社会教育環境づくり	【小松委員】 PTA協議会の活動について、自主的な活動を促すための補助制度を設けておられますが、具体的にどのような活動が対象教えてください。 【小松委員】 PTA協議会活動の存続が難しいという話も聞きますが、和泉市ではPTA協議会の活動実態がどのようになっているのか教えてください。	和泉市PTA協議会の活動補助として、主にPTA作品展、研究大会を毎年開催しており、研究大会では市全体でのPTAの情報交換、学習の機会として毎年11月に弥生の風ホールで開催しているイベントで、各学校での事例発表や講師を招いての講演会を行うための補助になります。 令和7年11月に開催した弥生の風ホールでのイベントでは、地域で活動する吹奏楽団体の演奏やダンス団体による公演を行い、これらの活動を通して各学校PTAの横の繋がりができたとの声も聞いておりますので、引き続き、PTA

		【川合委員】 PTAに入会しない保護者が増加していることやボランティア活動化している会があるとの報道もありますが、和泉市の状況について教えてください。	活動が少しでも継続しやすいものにするため、協議会役員等の意見を取り入れながら進めて行くことで考えています。 各小中学校園のPTAの活動につきましては、個々の単位学校PTAで運営されているため、詳細な状況については把握していませんが、一部のPTAでは、PTAへの加入につき個々の保護者に同意をとっているPTAもあることを聞き及んでいます。 あわせまして、市が所管する単位のPTAの代表者で組織する和泉市PTA協議会の会員の状況から、市内29校園中、26校園（幼稚園1/1園・小学校16/18校・中学校7/8校・義務教育学校2/2校）でPTA活動されていますので3校（芦部小・伯太小・富秋中）でPTA活動がないという状況です。
20	文化芸術活動	【小松委員】 小・中学校で開催した、ちぎり絵部門、書道部門の体験イベントについて、その内容や開催形態について、具体的に教えてください。（授業の一環として行ったのか、課外活動で行ったのかなど）	一例としまして、北池田小学校のクラブ活動において、文化協会の書道部門、盆栽部門、ちぎり絵部門が協力し、子どもたちに対し文化体験を行ないました。